

# 日本の中小インドに活路

## 技術力発揮 発展にも貢献

日本の市場が人口減少で先細りしていくなか、すぐれた技術を生かし、インドに活路を見いだそうとする日本の中小企業が 증가している。インドの発展や環境問題に貢献しつつ、成長著しい巨大市場も開拓しようという一石二鳥の試みだ。

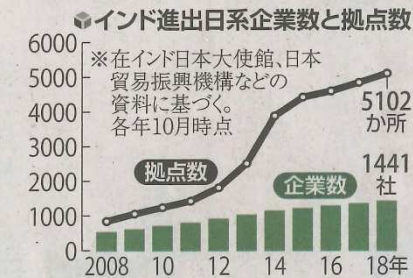
(ニューデリー 田尾茂樹)

### 汚水処理

ガンジス川が流れるヒンズー教の聖地・北部バラナシ。国際協力機構（JICA）の支援で整備された公衆トイレの横で、特殊な汚水処理装置の取り付け工事が進む。手掛けるのは、日本国内の自然公園などに処理装置を導入してきた「大成工業」だ。



公衆トイレの横に設置される汚水処理装置（9月、インドのバラナシ）＝大成工業提供



成工業」（鳥取県）だ。野外排せつが世界で最も多いインドでは、モディ政権がトイレ普及運動を展開する。だが、公衆トイレを設置しても、発生した汚泥が適切に処理されず、汚水が川にあふれてしまうなどの問題が後を絶たない。大成工業が開発した装置は微生物の力で汚水を浄化し、処理水を自然に蒸発させていく仕組みだ。電源不要で、発生する汚泥も少ない。

### JICA支援

日本の中小企業が海外展開を図る上で大きな壁となるのが、資金や人材の不足だ。JICAは販路開拓の調査費や実験事業の費用などを助成する「中小企業海外展開支援事業」を行っており、インド進出を目指す企業の活用が近年増えているという。

自動車部品向けの金型製造会社「岐阜多田精機」（岐阜市）は北部ラクナウの職業訓練学校と連携し、11月に職人育成事業を始めた。地場の金型は品質が悪く、インドに進出する日系自動車メーカーや部品メーカーの悩みの種だった。社員ら

のため、5〜10年間は汚泥を抜き取る必要がないなど管理しやすいのが特徴だ。第1号の工事は夏に始まり、来春の完成を目指す。地元NGOと連携してトイレの大切さを伝える衛生教育にも取り組み、装置の売り込みを図る。担当者は、インドのトイレ普及促進にも役立てば」と期待する。

【カイロ＝酒井圭吾】エジプトの首都カイロ近郊のギザで28日午後6時（日本時間29日午前1時）頃、爆弾テロがあった。内務省に

を学校に派遣して金型製造の指導者を養成し、高性能金型の製造・管理のノウハウを伝授していく。多田豊生社長は「インドですぐれた金型を供給するには、いい人材を育てることが不可欠。インドの金型産業の発展にもつながってほしい」と語る。将来的にはインドを新たな製造・販売拠点にする考えだ。

このほか、インドで水道管から半分の水が漏れているという問題に対処するため、自動漏水監視装置の売り込みにも成功した企業や、交通渋滞緩和のため、渋滞情報の配信システムを提供して成果を上げている企業もある。

インド側にとっても、急成長で環境問題など様々な

【パリ＝作田総輝】フランス各地で29日、マクロン政権に抗議する一斉デモが7週連続で行われた。デモ参加者の一部は既に大みそかや1月のデモ実施を呼びかけており、抗議行動は年明け以降も続く見通しだ。パリや地方都市では29日、シンボルとなった黄色いベストを着た参加者がデモ行進し、「大統領は辞職しろ」と訴えた。大統領が生活支援策を減らしたことを境にしては減少しているにもかかわらず、「マクロンの政策は金持ち優先」といった批判が続いている。

地方の問題に詳しい学者のクリストフ・イ氏は、「デモの根



ひずみが生じ、政府が振興を図る製造業分野でも技術水準の遅れが目立つなか、日本の技術力を役立てたい考えがある。JICAの担当者は「と話す。」

当者は「日印関係の強化で日本の支援に期待が高まっている。インドを目指す企業はさらに増えていくので」と話す。

## エジプト 爆弾テロ 観光客ら死

よると、観光バスに乗っていたベトナム人3人とエジプト人ガイド1人の計4人が死亡、12人が負傷した。日本人の被害はなかった。エジプト政府は29日、テ

爆弾は、観光客ミッドから北に約100メートル離れた路上で起きた。爆弾が仕掛けられ、乗客のほ